

ジェンツーペンギンの雛が誕生しました

～ 「南極大陸」水槽で、親鳥が子育て中です ～

海遊館（大阪市港区）で、2022年6月23日（木）にジェンツーペンギンの雛が誕生しました。



ジェンツーペンギンの雛（6月26日撮影）



ジェンツーペンギンの子育ての様子（6月28日撮影）

5月14日に産卵を確認し、6月21日にはし打ち（雛がかえる前に卵を内側からくちばしでつつくこと）が始まったものの、孵化完了の目安でもある48時間が経過しても孵化が完了しなかったため飼育員が卵の殻を開けるなどの介助を行い誕生しました。

現在雛は親鳥の腹の下ですごしており、親鳥から口移しで餌をもらう様子などを確認しています。毎朝行っている体重測定でも体重が増加しており、順調に成長しています。

【担当飼育員コメント】

孵化に時間がかかったこともあり少し不安を抱えていましたが、親鳥から餌をもらう様子が確認できたり、だんだんと毎日大きくなっていく姿を見てほっとしているとともに嬉しく思っています。今はまだ雛の様子を確認することは難しいかもしれませんが、今後1か月ほどで巣から出る様子などが見られるかと思います。

今後の成長の様子を一緒に見守ってもらえると嬉しいです。

【 広報連絡先 】

毎朝行っている、雛の体重測定をご撮影いただけます。
取材・素材提供をご希望の際は、下記までご連絡ください。

海遊館 広報チーム (06-6576-5529)

【 今回孵化した雛について 】

産卵日：2022年5月14日

孵化日：2022年6月23日

雛の体重：85.2g（出生直後）

377.1g（7月4日時点）

【 今後の雛の成長 】

現在雛は親鳥の腹の下ですごしており、口移しで餌をもらう等の子育ての様子を確認しています。

孵化後20日頃になると巣から出て周辺で過ごすようになってきます。その後、孵化から60日程で親鳥とほぼ同じ大きさまで成長し、雛の時期特有の「綿羽」が抜け、成鳥と同じ羽に生え換わります。

このころから巣立ちに向け、自分で餌を食べられるように訓練を始め、孵化後90日頃巣立ち。親鳥の元を離れ、単独で生活するようになります。

【 ジェンツーペンギンについて 】

英名：Gentoo penguin

学名：*Pygoscelis papua*

南極半島や南極周辺の島々に生息する。体長約75cmで、頭頂部にある白い斑紋が特徴。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産み、オスとメスが交代しながら温める。産卵後35~40日で孵化し、オスとメスが協力しながら子育てを行う。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。



ジェンツーペンギン（成鳥）